

平成 22 年 4 月 27 日

3 年生のみなさんへ

教務部 奨学金係

日本学生支援機構 大学予約奨学金募集について

右の通り、日本学生支援機構による大学等予約奨学金の案内が届いています。

基準等をよく読んで、応募を考える人は下記の日時の説明会に参加し、《応募までの流れ》に沿って応募してください。

なお、応募の手続きはインターネットでの入力（スカラネット）と書類提出が必要ですので、余裕を持って早めに手続きを進めてください。

《応募までの流れ》

①5月10日（月）15：30～ ②5月12日（水）12：40～

奨学金応募についての説明会（20分～30分程度）

※ 参加は、①と②のどちらか一方で構いません（応募書類を配布します）

※ 筆記用具を持参すること ※ 場所：視聴覚教室（新館1階）

説明会参加後	スカラネット入力用紙	} 提出	【 申込生徒 】
～5月21日（金）	収入に関する証明書類コピー		
5月24日（月）	提出書類チェック → 入力用紙返却		【 学校奨学金係 】
～6月8日（火）			
6月9日（水）	スカラネット入力 → 入力後、入力用紙提出		【 申込生徒 】
～6月16日（水）			
6月23日（水）	推薦者一覧表作成 ・ 提出書類整理		【 学校奨学金係 】
～7月5日（月）			
7月6日（火）	提出書類送付		【 学校奨学金係 】

※ 第一種奨学金（無利子）の応募については、今回限りとなっています。

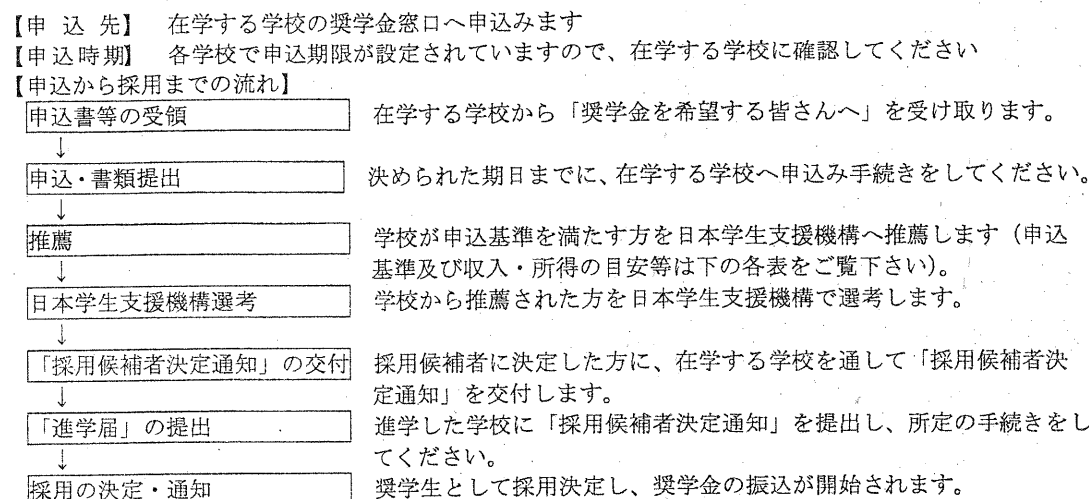
なお、7月7日（水）以降、第二種奨学金（有利子）のみ応募は可能です。

詳しくは、奨学金係（本館1階 職員室）のところまで来てください。

奨学金予約のご案内

大学・短期大学・専修学校（専門課程）に進学を予定している皆さんへ

日本学生支援機構では、意欲と能力のある生徒が経済的理由により大学・短期大学及び専修学校（専門課程）への進学をあきらめることのないよう、進学を希望する方を対象に、進学前に経済的な面での安心の提供を行うため奨学金の予約を行っています。奨学金予約の概要は次のとおりです。



奨学金の種類・月額・申込基準等

	月額（大学の場合、卒業までの各月）	申込基準
第一種奨学金 （無利息）	国公立・自宅 45,000円	・1年次から申込時点までの全履修科目の評定平均値が5段階評価で3.5以上 ・機構の定める収入基準を下回っていること（収入・所得の目安を参照）
	国公立・自宅外 51,000円	
	私立・自宅 54,000円	
	私立・自宅外 64,000円	
	上記額又は30,000円から選択	
第二種奨学金 （年利3%を上限とする利息付）	3・5・8・10・12万円から選択	・全履修科目の学習成績が平均水準以上である等 ・機構の定める収入基準を下回っていること（収入・所得の目安を参照）

※上記月額に入学時特別増額貸与奨学金（10万円、20万円、30万円、40万円、50万円からの選択、利息付）を付け加える制度もあります。

収入・所得の目安

区分	給与所得の世帯（源泉徴収票の「支払金額」）			給与所得以外の世帯（確定申告の「所得金額」）		
	第一種	第二種	併用	第一種	第二種	併用
3人世帯	825万円以下	1,072万円以下	647万円以下	354万円以下	586万円以下	230万円以下
4人世帯	882万円以下	1,134万円以下	693万円以下	396万円以下	648万円以下	262万円以下
5人世帯	915万円以下	1,247万円以下	727万円以下	429万円以下	761万円以下	286万円以下

* 併用とは第一種と第二種を両方同時に受けることです。

- ・ 学力・家計基準等に従い選考があります。上記の「申込基準」「収入・所得の目安」を参照してください。なお、第一種奨学金については、予算上の制約から申込基準を満たしていても不採用になることがあります。
- ・ 進学しない可能性があっても、申込みできます。
- ・ 入学時特別増額貸与奨学金を含め、貸与が始まるのは入学後です。入学前に入学金納入のための資金が必要な場合は、労働金庫の「入学時必要資金融資」制度や日本政策金融公庫等の「教育貸付」制度等をご利用ください。
- ・ 日本学生支援機構の奨学金は貸与です。進学先の学校を卒業後は、全額（第二種は利息を含む）を必ず返還しなければなりませんので、適切な貸与月額を選択するようにしてください。
- ・ 詳細は在学する学校から受け取る「奨学金を希望する皆さんへ」及び日本学生支援機構ホームページ（<http://www.jasso.go.jp/saiyou/index.html>）を参照してください。
- ・ 問い合わせは在学する学校を通じてお願いします。